

コンテンツ スイッチング モジュールのリバースステイッキ設定例

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、リバースステイッキを使用するための設定例を紹介します。この機能は、発信トラフィックが着信トラフィックと同じファイアウォールに送信されるようにするために、ファイアウォールロードバランシング (FWLB) のシナリオで主に使用されます。たとえば、インターネット上のクライアントから内部ネットワークのサーバへのアクセスに FTP を使用している場合、コントロールチャンネルと同じファイアウォールを通過するためには、サーバによってクライアントへのデータ接続が開かれている必要があります。

はじめに

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- コンテンツ スイッチング モジュール (CSM) 3.x
- ネイティブ IOS 12.1(20)E

関連製品

この設定は、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- CatOS バージョン 7.x
- MSFC IOS 12.1E

表記法

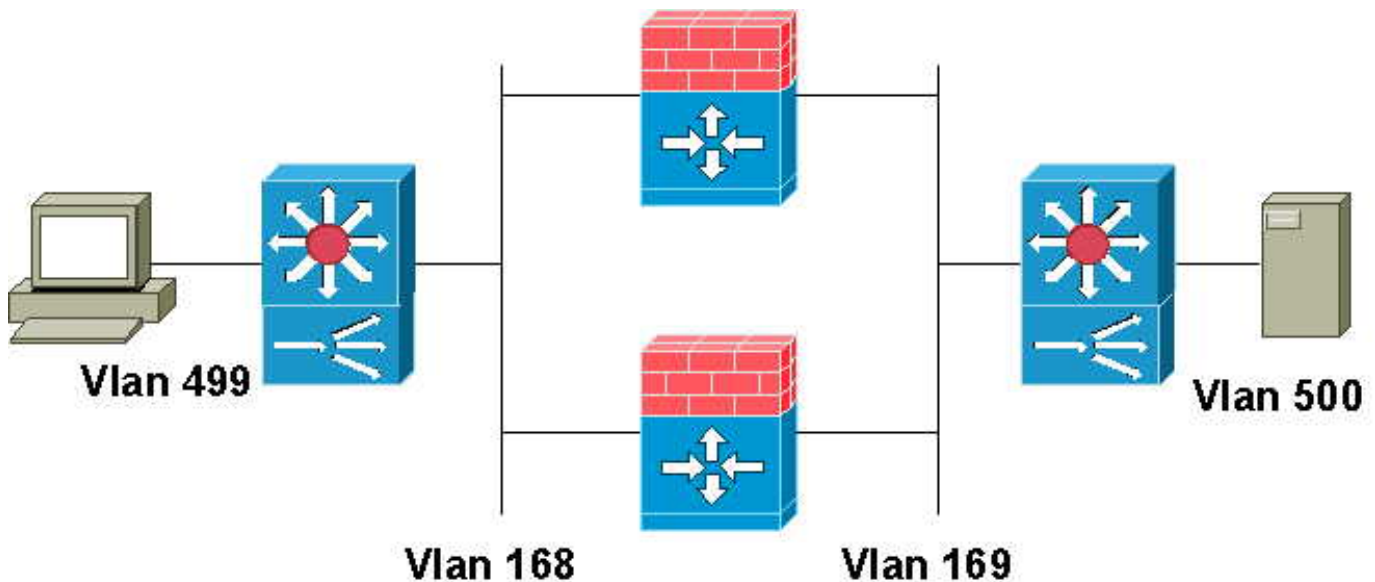
ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

```
module ContentSwitchingModule 4
  vlan 500 server
  !--- Internal network. ip address 192.168.20.97 255.255.254.0 route 192.168.50.0 255.255.255.0
  gateway 192.168.20.1 ! vlan 169 server !--- Inside firewall VLAN. ip address 192.168.169.97
  255.255.255.0 ! serverfarm FORWARD !--- Serverfarm to simply forward the traffic with no load
  balancing. no nat server no nat client predictor forward ! serverfarm FWLB_IN2OUT !--- Firewall
  serverfarm. no nat server no nat client real 192.168.169.1 !--- Firewall inside IP address.
  backup real 192.168.169.2 !--- Backup firewall inside IP address; only if firewalls support
  stateful failover. inservice real 192.168.169.2 backup real 192.168.169.1 inservice ! sticky 60
  netmask 255.255.255.255 address destination timeout 200 !--- Define a sticky group based on
  destination IP address. !--- The sticky entry will link a destination IP address with a firewall
  ! vserver FW2SERV virtual 192.168.20.0 255.255.254.0 any vlan 169 serverfarm FORWARD reverse-
  sticky 60 !--- Enable reverse-sticky for group 60. !--- The source IP address (reverse of group
```

```
60) will be used !--- to create an entry in the sticky table. persistent rebalance inservice !
vserver SERV2FW virtual 0.0.0.0 0.0.0.0 any vlan 500 serverfarm FWLB_IN2OUT sticky 200 group 60
!--- Normal sticky group. !--- The sticky entry is used to determine the correct firewall to be
used. persistent rebalance inservice !
```

確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

- `show mod csm slot sticky`
- `show mod csm slot vserver`
- `clear mod csm slot sticky all`

```
show mod csm 4 sticky group sticky-data real timeout -----
----- 60 ip 192.168.11.46 192.168.169.2 0
```

クライアント (192.168.11.46) がサーバ (192.168.21.240) との TCP 接続を開くと、トラフィックは仮想サーバ FW2SERV をヒットします。reverse-sticky コマンドのために、送信元の IP アドレスに対するエントリがスティッキ テーブルに作成されます。エントリ ポイントは、トラフィックの送信元のファイアウォールであり、この例ではファイアウォール 192.168.169.2 です。

```
show mod csm 4 vservers vserver type prot virtual vlan state conns -----
----- FW2SERV SLB any 192.168.20.0/23:0 169 OPERATIONAL
0 SERV2FW SLB any 0.0.0.0/0:0 500 OPERATIONAL 0
```

`show mod csm slot vserver` コマンドは、各仮想サーバのアクティブな接続の数を示します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

スティッキ性が動作するかどうかを確認するには、`show mod csm slot vserver` コマンドを発行して接続が正しい仮想サーバに到着したかどうかを確認します。スティッキ テーブルにエントリが作成されたかどうかを調べるには、`show mod csm slot sticky` コマンドを発行します。

関連情報

- [CSM でのセキュア \(ルータ \) モードの設定](#)
- [コンテンツ スイッチング モジュール ハードウェアに関するサポート](#)
- [コンテンツネットワーク テクノロジー サポート](#)
- [コンテンツ スイッチング モジュール ソフトウェアのダウンロード \(登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)